

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	ST 合剤予防的投与患者の日本における単純性尿路感染症の最適エンプirik治療の検討
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	杉山 恭平
研究期間	2024年6月 ～ 2026年3月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	実施許可日（2024年6月17日）
対象者	2018年4月から2023年3月までに尿中の細菌検査を実施された18歳以上の入院および通院患者さんを対象としております。
当該研究の意義・目的	<p>尿路感染症は、本来無菌である尿中で細菌が増殖し炎症が起きた状態であり、その治療には抗菌薬のST合剤*や、その他の抗菌薬が使用されます。ST合剤は免疫力が低下した患者さんに対して、ニューモシスチス肺炎(PCP)の予防として使用されます。予防的に長期間ST合剤を使用した場合、ST合剤に対して様々な細菌が効かなくなる状況が予想されます。本研究では、ST合剤を予防的に投与されている場合、どの抗菌薬が尿路感染症に有効であるかを調べます。この情報は、尿路感染症の治療に効果的な抗菌薬を選ぶのに役立ちます。</p> <p>*ST合剤(スルファメトキサゾール・トリメトプリムの合剤) (バクタ配合錠®、バクトラミン配合錠®、ダイフェン配合錠®等)</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>対象となる患者さんの診療録(カルテ)から次の情報を調査します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・背景(年齢、性別)</li><li>・ST合剤の用法、用量、投与日数</li><li>・尿中の細菌検査から検出された細菌の種類および薬剤への抵抗性 など</li></ul>
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。

研究代表機関・代表者	静岡県立総合病院 杉山恭平
共同研究機関・責任者	静岡県立大学 薬学部 伊藤邦彦
問合せ先	◆その他、該当する治療を行ったか確認したい方、この研究に関するお問合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 客員研究員 杉山恭平 電話：代表 054-247-6111